

～絆をつなぐ、未来へつなぐ～

No.17

2025年
5月1日発行

愛知医科大学看護学部

同窓会会報



会長挨拶

看護学部同窓会
会長 藤澤 恵児 (第9期生)



愛知医科大学看護学部同窓会会員の皆さま、関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃から、愛知医科大学看護学部同窓会活動にご理解とご協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。

看護学部同窓会では、昨年度から新たな取り組みとしてホームカミングデーというイベントを開催しました(詳細はHP参照)。少しずつではありますが、同窓会の活動が着実に広がってきており、活動が会員の皆さまに根付きつつあるのではないかと感じております。

今年度も引き続き、会員の皆様が参加しやすいイベントや、プラスになるような情報提供を行えるように努めてまいります。

また、定期総会(年に1回)は、Zoomと会場でのハイブリッドの開催で遠方の方もご参加いただけます。ぜひご参加いただき会員の皆さまのご意見を伺えましたら幸いです。

看護学部同窓会が、卒業生からも在校生からもより身近な存在と感じてもらえるように役員一同取り組みで参りたいと思っておりますので、本年も皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 定期総会 案内

開催日時 令和7年 6月21日(土) 10:00～
開催方法 対面及び遠隔のハイブリッド開催
回答期限 令和7年 6月13日(金)まで

出欠確認は、以下のフォームに入力をお願いいたします。

【URL】<https://amukandou.jp/meeting/1950/>

※ご入力いただいたメールアドレス宛に、ZoomミーティングのID・PW等を送付いたします。



メーリングリスト 登録のお願い

同窓会では、会員の皆さまに向けて、イベント情報や同窓会からのお知らせなどをメールでお届けするメーリングリストを運用しています。
未登録の方は、QRコードから登録手続きをお願いいたします。
ぜひこの機会にご登録いただき、同窓生同士のつながりを深めましょう。



会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、皆様のご協力が必要となりますので、会費(終身10,000円)未納の方は至急振込をお願いいたします。

※1 ATMからの振込にあたっては、振込人氏名欄に入力する氏名の前に、必ず「学籍番号」を入力してください。
(例) ATM振込人氏名欄 123456 アイチハナコ

※2 なお、学籍番号が不明な方は同窓会事務局までご連絡ください。

会費
振込先

口座名 三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金
口座名義 愛知医科大学看護学部同窓会
口座番号 0004390

実習・演習指導員募集

同窓会では、母校の教育活動にご協力いただける**実習・演習指導員**を募集しています。
同窓生の皆さまのご経験を、学生たちの実践的な学びの場で活かしてみませんか。
詳細はQRコードから確認ください。





令和6年度
卒業生
(第22期生)



令和6年度 卒業生代表挨拶

令和7年3月1日、私たち第22期生は、無事に卒業の日を迎えることができました。これもひとえに先生方、職員の皆さま、そして関係する多くの方々のご支援とご指導のおかげです。学生生活を様々な形で支えてくださった全ての方に心より感謝申し上げます。

入学当初は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、想像していた学生生活とは異なるスタートとなりましたが、教職員の皆さまのおかげで恵まれた環境の中で大学生活を送ることができました。オンラインでの講義やコロナ禍で制限がある中での実習など、コロナ禍の中で思い通りにはいかない学生生活も乗り越えることができました。

また、卒業を記念して3月4日には、名古屋マリオットアソシアホテルにて、5年ぶりとなる「卒業パーティー」を開催することができました。従来の「謝恩会」という形から、今年は、5年ぶりに「卒業パーティー」として新たな形で開催され、教職員の皆さまと卒業生と一緒に卒業を祝い、門出を祝福する会となりました。当日は、先生方との再会や、学生同士の交流も深めることができ、改めて看護学部で過ごした4年間の重みを感じる時間となりました。

この「卒業パーティー」の開催にあたっては、看護学部同窓会より多大なるご助成を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。皆さまの温かいご支援のおかげで、私たちの門出にふさわしい、思い出深いひとときを迎えることができました。

私たちは今後、それぞれの道に進みますが、同窓生として母校との絆を大切に、誇りを持って歩んでまいります。

最後になりますが、これまで支えてくださった全ての皆さまに感謝申し上げ、愛知医科大学看護学部の更なる発展をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

第22期生 佐倉志歩、田中美裕希、永縄桃可、西本彩乃、山田佳苗

令和6年度 保健師として就業する卒業生の会 ～りぼんの会レポート～

令和6年11月30日(土)の10時から12時まで看護学部棟において、第12回「りぼんの会(保健師として就業する卒業生の会)」を開催いたしました。参加者は、卒業生26名、教員4名の計30名でした。

今回は、看護学部開学時から勤務されている坂本真理子教授が令和6年度で退官されることを記念し、「坂本真理子先生を囲む会」を企画しました。坂本教授には、保健師として就業する卒業生へのメッセージを込めた講義をいただき、その後は卒業年度ごとの小グループを順番に回っていただきました。先生との思い出話に花が咲き、会場は笑顔と温かな交流に包まれました。また、久しぶりに再会した同期生同士の交流も活発で、笑顔が絶えない楽しい会となりました。

会の企画・準備・運営は、すべて1期生の卒業生が担当してくださいました。心温まる会となり、運営を担ってくださった1期生の皆さまと、同窓会からのご支援に心から感謝いたします。



オープンキャンパスに同窓会が参加!～卒業生が語る現場のリアル～

令和6年8月3日(土)、8月10日(土)の2日間にわたり、愛知医科大学看護学部オープンキャンパスが開催され、同窓会として初めて参加協力をしました。

当日は、教員、診療看護師(NP)、認定看護師、病棟看護師など、様々な現場で活躍している卒業生が参加し、大学生活や卒後のキャリアについて、高校生や親御さんからの相談に対応しました。卒業生の具体的な経験談やアドバイスは、多くの参加者にとって非常に有意義なものとなったことと思います。

特に、実習先や就職先での経験談を共有することで、高校生たちは看護師としての具体的なイメージを持つことができました。参加者からは、「実際に現場で働く卒業生の話を直接聞けて、とても参考になった。」という声や、「NPや認定看護師などのスペシャリストを目指したいという気持ちが強まりました。」との感想が多く寄せられました。

今後も同窓会として、看護学部の学生募集に貢献し、将来の看護師を育てる一助となれるよう努めてまいります。



左から森さん、藤澤さん、佐藤さん



左から戸谷さん、黒木さん、稲垣さん

ホームカミングデーを開催! ～過去を振り返り、未来へつなげる1日～

令和6年9月6日(金)午後6時から、立石プラザ3階において、ホームカミングデーを開催しました。当日は令和5年度卒業生、教職員、同窓会理事が一堂に会し、懐かしい再会を喜び合いながら、親睦を深める貴重な機会となりました。

イベントは、藤澤同窓会長と若杉学部長のご挨拶から始まり、その後の交流会では食事を共にしながら卒業生と教職員が旧交を温めました。ミニゲームでは、オリジナルのビンゴを行い、皆さんが楽しみながら参加しました。景品が用意されたことで、笑顔が溢れるひとときとなりました。最後には、記念撮影とともに当日のイベントを振り返るスライドショーが上映され、参加者は一日を通しての思い出に浸りながら、名残惜しさを感じつつも締めくくりとなりました。

参加者からは、「このつながりを糧に、これからもより一層仕事を頑張りたい。」という声が多く聞かれ、今回のイベントが新たな意欲を生み出すきっかけとなったことと思います。



令和6年度 同窓会ミニレクチャーを開催しました

災害看護の実際～フライトナースとDMATを経験して～

令和7年3月15日(土)午後1時30分から、愛知医科大学病院看護部HCU病棟主任・フライトナースの伊礼 リカルド 氏をお招きし、「災害看護の実際～フライトナースとDMATを経験して～」をテーマとして、対面とオンラインのハイブリッドによるミニレクチャーを開催しました。

ミニレクチャーに参加して

私は東日本大震災で被災した経験から、「一人でも多くの人を救いたい」という思いを抱き、救急・災害に携わる看護師を志しました。今回講師を務めてくださった伊礼さんとは、救急外来で一緒に働かせていただいています。日頃から看護実践についてご指導をいただいているのですが、フライトナースやDMATとしての活動について、詳しく伺う機会は多くありませんでした。

今回のミニレクチャーでは、その詳細な活動内容を知ることができ、特にコロナ禍におけるDMATの対応など、現場での貴重な経験を聞かせていただきました。また、フライトナースの一日の流れについても改めて知ることができ、同じ職場で働いていながらも見えていなかった部分に触れることができました。

伊礼さんのモチベーションの保ち方や、日々の業務を大切にされている姿勢に触れ、私自身も初心に立ち返る機会となりました。今回のレクチャーを通じて、フライトナースやDMATへの憧れが一層強くなりましたし、高度救命救急センターという環境で働けていることへの感謝の気持ちも改めて実感しました。

愛知医科大学看護学部第18期生 三浦安加里



令和8年度愛知医科大学大学院 看護学研究科 学生募集案内

■修士課程

募集領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	基礎看護学 看護管理学	修士論文
母子看護学	母性看護学 小児看護学	
成人・老年看護学	慢性看護学	
精神・在宅・地域看護学	精神看護学	
	在宅看護学	
	地域看護学	
高度実践看護学	感染看護学	高度実践看護師(専門看護師[CNS])(※1)
	臨床実践看護学	高度実践看護師(診療看護師[NP])(※2)

日程

出願期間	日程
出願期間	令和7年8月4日(月)～令和7年8月18日(月)
試験期日	令和7年9月5日(金)

募集人員
15名

選抜方法 専門領域学力試験、小論文、面接、出願書類を総合して判定します。

出願資格 ● 大学を卒業した方及び卒業見込みの方
● 短期大学、看護専門学校(3年課程)
卒業の方も、出願資格認定審査を受けることにより、大学院を受験することができます。

※1高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース修了後は、公益社団法人日本看護協会の認定審査を受けられます。
※2高度実践看護師(診療看護師[NP])コース修了後は、特定行為研修修了者として厚生労働省に報告します。また、一般社団法人日本NP教育大学院協議会が実施する「NP資格認定試験(プライマリケア・クリティカル領域)」の受験資格が得られます。

入試説明会 (対面又はWeb参加可能のハイブリッド形式)

第1回 令和7年 **6月7日(土)**
10:00～11:45

第2回 令和7年 **6月26日(木)**
18:30～20:15

内容 大学院の概要、入試説明、科目等履修生説明、在学生・修了生のお話、その他個別相談に応じます。お気軽にご参加ください。

社会人の方が在職したまま就学できるよう「長期履修制度」の導入や、夜間その他特定の時間や時期において授業や研究指導を行っています。(ただし、高度実践看護師(診療看護師[NP])コースを除く。)

[入試説明特設ページはこちら▶](#)

学生募集要項 無料配布中です



■博士後期課程

募集領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	基礎看護学 精神看護学 感染看護学	PhDコース 及び DNPコース
成育・療養支援看護学	母子看護学	
	成人看護学	
	老年看護学	
包括・実践看護学	地域看護学	
	在宅看護学 高度実践看護学	

日程

出願期間	日程
出願期間	令和7年8月4日(月)～令和7年8月18日(月)
試験期日	令和7年9月6日(土)

募集人員
4名

選抜方法 英語、専門領域学力試験、小論文、面接、出願書類を総合して判定します。

出願資格 ● 修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方及び授与される見込みの方
● その他、出願資格につきましてはホームページ又は募集要項をご確認ください。

入試説明会 (対面又はWeb参加可能のハイブリッド形式)

日程 令和7年 **6月19日(木)**
18:30～20:15

内容 大学院の概要、入試説明、在学生のお話、その他個別相談に応じます。ご予約の上、ご参加ください。

社会人の方が在職したまま就学できるよう「長期履修制度」の導入や、夜間その他特定の時間や時期において授業や研究指導を行っています。

[博士後期課程についてはこちら▶](#)

学生募集要項 無料配布中です



坂本真理子教授 最終講義開催～同窓生から先生への感謝を込めて～

令和7年2月18日(火)17時30分から、たちばなホールにおいて坂本真理子先生の最終講義が開催されました。長年にわたり看護教育の発展に尽力されてきた坂本先生が、令和7年3月31日をもって定年退職されることを記念し、多くの方々が参加されました。

講義は『Health for Allに向けた人々と看護の挑戦』という演題で行われ、参加者一同、坂本先生がこれまで歩んできた軌跡と未来に向けた熱いメッセージに耳を傾けました。

最終講義終了後、看護学部同窓会を代表して藤澤恵児同窓会長と役員の森莉那先生から、坂本先生へ花束と記念品を贈呈しました。花束を手にされた坂本先生の笑顔がとても印象的で、会場には温かな拍手が響き渡りました。

坂本先生がこれまで築かれてきた数々のご功績と温かなご指導は、卒業生、修了生及び在学生の心に深く刻まれ、これからも私たちを支える大きな力となります。

同窓会一同、坂本先生のご健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



坂本先生最終講義



同窓会 花束及び記念品贈呈



看護学部教員との記念撮影

第6期生同窓会開催～15年の時を超えて、笑顔と絆が集う日～

令和7年3月9日(日)、愛知医科大学看護学部棟 N102実習室にて、第6期生の卒後15周年同窓会を開催しました。当日、同窓生20名に加え、それぞれのお子様も参加し、笑顔あふれる和やかなひとときを過ごしました。

同窓会では、卒業写真を見返しながら思い出を語り合ったり、お互いの近況を報告し合ったりしました。学生時代の懐かしい話に花が咲く一方で、看護職としてのキャリアを積み重ねたり、新たな道を歩みながら家庭を支える仲間たちの姿に、大いに刺激を受けました。また、平成18年10月14日に行われたキャンドルセレモニーのパンフレットを手にし、当時の「学生のこぼれ」を通して、自分たちの成長を実感する時間ともなりました。



コロナ禍を経て、卒業から15年。自分自身や周囲の環境は大きく変化しましたが、それでも変わらず集い、あの頃のように語り合える仲間がいることの心強さを改めて感じました。愛知医科大学で出会えた生涯の友人を、これからも大切にしていきたいと思います。

今回、残念ながら参加できなかった同窓生もいらっしゃいましたが、次回の開催には、ぜひご参加ください。最後に、本同窓会の開催にあたり、看護学部棟の使用を許可して下さった看護学部の皆様、そして助成金をご支援くださった看護学部同窓会の皆様に、心より感謝申し上げます。

愛知医科大学看護学部第6期生 藤澤 希美

「同窓生インタビュー」

ホームページにて「同窓生インタビュー」記事を公開していますので、ぜひご覧ください！

<https://amukandou.jp/>



令和7年度 事業計画

- | | | |
|----------------------------|-----------------|----------------|
| 1 看護学部同窓会報17号の発行 | 4 卒業生への補助 | 8 ホームカミングデーの開催 |
| 2 令和7年度卒業生への卒業記念品贈呈 | 5 クラス会等への補助 | 9 看護学部との連携 |
| 3 令和7年度卒業生への看護学部同窓会長賞記念品贈呈 | 6 保健師の会への補助 | 10 看護学部同窓会広報活動 |
| | 7 ミニレクチャー等の交流企画 | |

先輩から学ぶ未来への道標 ～令和6年度 進路懇談会 開催～

令和6年12月23日(月)午前9時から、看護学部3学年次生を対象に「進路懇談会」が開催されました。今回の懇談会は、履歴書ブラッシュアップ講座、卒業生による体験談発表、進路相談会の3部構成で行われました。履歴書講座では、株マイナビの講師を迎え、面接対策を含めた実践的な指導が行われました。続いて、愛知医科大学病院で看護師として活躍する水野結衣さん、助産師の神谷花波さん、名古屋市立大学病院勤務の天野由唯さん、瀬戸市役所健康課で保健師として働く田中あおいさんが、進路決定の背景や現在の仕事内容について語りました。進路相談会では、卒業生が各分野別に分かれ、学生一人ひとりに対して具体的なアドバイスを送りました。参加した学生からは「進路に対する視野が広がった」、「卒業生のリアルな体験が参考になった」といった声が寄せられました。

今後も、看護学部同窓会は卒業生の経験や知見を活かし、在学生の進路選択を支援していきます。学生が安心して将来を描けるよう、卒業生とのつながりを深める機会を積極的に設け、進路実現に向けたサポートを続けてまいります。



同窓生だより



2024年3月に愛知医科大学看護学部を卒業し、現在は整形外科病棟で日々勤務しています。

交通外傷やスポーツ傷害、認知症を既往に持つ方の骨折など、幅広い年代の患者さんと関わり、多忙な業務の中でも個性のある看護を提供できるように努めています。

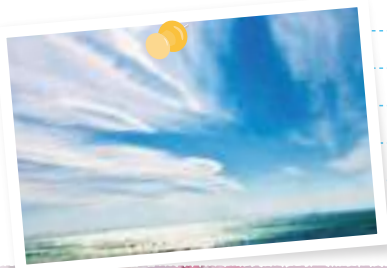
4月に入職してから、看護師という職業の責任の重さを痛感する場面や、自分の無力さに落ち込むこともありましたが、同期やプリセプターの先輩方など、たくさんの人に支えていただきながら、ここまで続けることができました。自分の言葉や働きかけが患者さんの笑顔につながった時、精神的な苦痛を取り除くことができた時には、看護師としてのやりがいを感じています。今後も知識・技術の習得に励み、自分なりの看護観を磨きながら、看護を実践できるように頑張っていきたいです。

宮川 桜さん (21期生 2024年3月卒業)

私は愛知医科大学大学院看護学研究科を修了し、現在は地域に根ざすクリニックで勤務しています。クリニックの看護では患者さんの生活がより身近であるため、日常生活状況をアセスメントすることが非常に重要ですが、このアセスメントの際に「自分が考えたことがなかった視点も取り入れて、何度も丁寧に考えながら結論を出す」という大学院での学びが活かされています。大学院では他にも多くの学びがあり、私にとって本当にかけがえのない財産となりました。

クリニックにおける患者さんとの関わりは短時間ですが、慢性疾患などで定期的に通院される方も多いため長期的に関わります。現在は、小さなお子さんから100歳を超える方まで幅広い世代の患者さんの生活を身近で長期的に支えることができるクリニックでの看護にやりがいを感じています。これからも大学院での貴重な学びを活かし、少しでも地域全体の健康増進に貢献できるように頑張っていきたいと思います。

梅野 優子さん (看護学研究科 2022年3月修了)



Editor's Note 17

編集後記

看護学部同窓会 副会長 下八重 和真 (第15期生)



同窓生の皆さまいかがお過ごしでしょうか。私自身は卒後8年目となりました。職場では新人教育担当者を担いながら母校の大学院に戻り、研究の壁に葛藤する日々が続いています。その様な中で在学中の同期やお世話になった先生方との1コマをふとした瞬間に思い出し、懐かしく感じるが多くなりました。

看護学部は令和7年3月に第22期生を新たに送り出しました。この22年間、多くの同窓生や諸先生方・事務部職員の方々が歴史を紡ぎ続けている証だと思います。同窓会は昨年度よりホームカミングデーの実施など活動を拡充しており、今後もパワーアップしていきます。歴史ある看護学部に対応しい同窓会組織となるように、副会長として微力ではありますが他役員と協働し頑張っております。